

【支部だより】

平成 20 年度 学友会広島支部総会報告

沖田 泉(54 回生)

平成 20 年度学友会広島支部総会及び懇親会を、高橋隆学長、埜藤眞純学友会会長をお招きし、6 月 15 日(日)ホテルセンチュリー21 広島において開催いたしました。当日は梅雨時期ということもあり、鉛色の雲に覆われた天候にもかかわらず 14 名の御来賓及び会員の方々が参集しました。

総会に先立ち、石山 忍 前学友会会長のご冥福を祈り黙祷をささげました。引き続き、陶山支部長より活動報告及び「誇り高き歴史ある母校と広島支部の絆を強め、より学友意識が高揚するように熱い思いを込めた挨拶」に始まり、学術講演では、島津製作所 医用機器事業部マーケティング部 田中修二氏をお招きし「ここまで来た島津の最新 FPD 技術」と題された講演がありました。今一番注目を集めている FPD を搭載し次代のイメージングテクノロジーを視野に入れて考案された最新装置についての情報ということもあり会員を釘付けにする内容となりました。

続いて、広島市総合リハビリテーションセンターの村中氏(57 回生)から、海外研修の報告がありました。日本放射線技術学会より平成 19 年 7 月 22 日から 28 日まで米国スタンフォード大学に海外派遣会員として選出されたもので、今回は広島市民病院の西丸英治氏(短 2 回生)も参加していました。

講演の内容は米国の診療放射線技師の現状、最新医療機器を使用した研究、医療制度など多岐に渡る内容で長期の研修は経済的にも、業務等を含めても困難な場合が多いが、彼らの行動は今回出席した後輩の会員にとってはよい刺激となったのではないかと思います。

その後、学友会会長に就任された埜藤眞純氏から、会長として今後の取り組みと姿勢についての挨拶と、先日退職された山田先生の退任祝賀会に多くの参加者を迎えて盛大に開催できたこと、またその時のエピソード等お話がありました。高橋隆学長からは、念願であった 4 年制大学への昇格と近況報告、昨年度の就職状況及び今年度の入学状況をお聞きし、今更の如く求人状況の厳しさを実感するとともに、こうした厳しい状況下においてこそ学友会の重要性と各支部の支援、協力の重要性を再確認しました。

続いて待ちに待った懇親会に移り、支部長の指名にて西永徳年氏(33 回生)の乾杯の音頭で宴が始まりました。宴も進むにつれ年齢を超え遠い過去の学生時代の思い出へ移り、一段と酌み交わす酒の量も増えていくなかで、全員の自己紹介へと移りさまざまな思いを込めた挨拶の場となり会場からは声援と歓声飛び交っていました。特に古西泰隆氏(65 回生)から学友会を通じて子供の肝移植に会員の皆様から暖かい寄付をいただいたことへ、この場を借りて感謝の挨拶がありました。美味しい食事に美味しい酒、違う職場環境に人間関係、古き良き時代の思い出話など本当に有意義な一時を過ごすことができました。予定としていた時間もあっという間に過ぎ陶山支部長の挨拶でお開きとなり、それぞれに次回の参加を誓って降り出した雨のなか、会場をあとにしました。

報告にあたり、遠路はるばる御来広いただいた高橋学長、埜藤会長には心から感謝いたします。また、最後になりましたが今回の総会にあたり会場設定、講演等支部総会にご尽力頂きました(株)島津製作所広島支店の皆様に対しまして、厚くお礼申し上げます。

【参加者】

西永徳年(33 回)、陶山幹夫(44 回)、増原和広(46 回)、
沖田泉(54 回)、村中博幸(57 回)、奥野幸生(60 回)、
古西泰隆(65 回)、寺尾忠宣(短 1 回)、
村上大加(短 3 回)、山内和彦(短 3 回)、
谷中伸也(短 9 回)、玉田真一(短 13 回)、島津製作所 4 名



以上